

第39回クラブ対抗トーナメント諸注意

日程確認

1. 日程発表 日程はホームページ上で発表するので必ず確認すること。
電話による問い合わせには一切応じないので十分に注意すること。
2. 次回日程発表 日程が発表してあるウェブページの末尾に次回日程発表日を書いてあるので、勝ち残りチームは必ず日程確認をすること。
(翌日に試合がある場合もあるので十分に注意すること。)
3. 問い合わせ 不明な点は連盟事務所もしくは大会委員長まで
TEL 03-5273-0606(祝祭日を除く月～金、8:30～17:00 大会期間中のみ)
直接会場への問い合わせは厳禁とし、違反サークルは処罰する。
団体戦委員長 加藤 航平 090-4873-7227
同 新居 孝行 080-6525-6594
雨天掲示板 <http://www.t-kanto.org/mobile/index.html>
団体戦アドレス dantai@t-kanto.org

オーダーについて(別紙の見本を参照のこと)

1. 9:15までにオーダー表、会員証と学生証の提出を済ませること。(確認後、代表者は必ず返却してもらうこと)
2. 原則としてホームページにアップしてあるオーダー用紙を各自印刷し使用すること。やむを得ない場合はA4の紙を使用して書くこと。(その際書式を同様にすること。)
3. 選手の単複を兼ねての出場は禁止。
4. 必ず、封筒を2通持参し、その中にオーダー用紙を入れ、表に対戦相手とサークル名を書くこと。
5. 封筒2通のうち、1通は本部、1通は対戦相手に提出すること。
6. 選手は会員証及び学生証を必ず持参すること。
7. 会員証を忘れた選手のサークル名・氏名を別紙に記入し、学生証を添えてオーダーと一緒に必ず提出すること。学生証を忘れた場合、もしくは学生証を紛失した場合は必ず“顔写真付きの身分証明書”を提示すること。この提示がない場合はその選手の出場を一切認めない。
なお、タスポは“顔写真付きの身分証明書”には含まれない。
“顔写真付きの身分証明書”とは免許証、学生証、パスポートとする。
8. 学生証忘れが続いた場合は在学証明書の提示を求めることもある。

禁止事項 ・ コート外でのボールを使用した行為 ・ 空きコートの使用 ・ 駐車場料金の不払い
・ シャワールームの使用 ・ 身代わり出場 ・ 無断DEF ・ 電源の無断使用

以上の禁止事項を行った場合、今大会の出場を男女ともに全DEFとし、その他の処分については役員会の決定に従うものとする。またアップの公平性を期すため、コート内でのボレーボレー等のボールを使用した行為に対しても厳重に処罰する。また以上の行為は現役、OBOG問わず大会関係者全員に該当する。

注意事項

- ・インジュアリータイムは、1試合10分間、1回のみとする。5分2回という使い方は認めない。
- ・雨天掲示板に中止の掲示がない限り、雨天時でも必ず集合すること。
- ・ウォーミングアップ時間は5分を厳守とする。5分経過後は速やかにサーブを各サイド2本ずつのみ行い終了する。(審判が時間を計り、厳守させること。)
- ・ポイント間の時間は最大20秒、チェンジコートのないゲーム間は30秒、チェンジコートのあるゲーム間は最大90秒とする。なおセット終了後は最大120秒とする。タイブレイクのコートチェンジ間は30秒とする。
- ・応援による試合の遅延が行われた場合、応援を規制する場合がある。(警告の対象でもある。)
- ・ゴミは各会場の規定に従い分別し、指定のゴミ袋へ捨てること。
- ・各会場のロッカーの使用は禁止とする。
- ・エールは野火止・松戸・有明は禁止。その他の会場は基本的には可能だが、場合によっては不可の時もあるので当日の役員に聞くこと。
- ・テニスウェア、テニスシューズを着用している応援者のみコートへの入場を認める。
- ・スポーツマンシップに著しく反する行為を行った者及び所属サークルに対しては厳重に処罰する。
- ・諸注意以外の規定に関しては関東連盟役員の判断に準ずる。(関東連盟役員は「JTA テニスルールブック」を参考にする。)
- ・諸注意を守らない者及び所属サークルは処罰の対象となる
- ・各クラブに設置された灰皿のある場所以外での喫煙、及び歩行喫煙は禁止する。
- ・更衣室外での更衣は禁止(ららぽーとは外にある団体戦更衣室を使用すること)

試合当日

(集合時)

- ・試合の中止決定は、大会委員長が行う。11:30までに試合を開始できない場合は、中止とする。また、場合によってはその前に中止にすることもある。なお、中止の場合DEFコールはとらない。訓示が終了した時点で中止決定がなされていない場合、その対抗戦で提出されたオーダー表を有効とみなす。
- ・直接会場への問い合わせは厳禁とする。

(試合開始まで)

- ・オーダー表1通、会員証・学生証(選手全員分)を提出すること。

- ・ オーダー表提出遅れは、DEFとみなす。
- ・ 各サークルの代表者1名は9:20に諸注意及び会場での規定を再確認するので必ず本部に集合すること。
なおこの集合で確認した事項はサークルメンバー全員が知っているものとみなすので、代表者は責任をもってサークルメンバーにそれらの事項を伝え、守らせるよう指導すること。
- ・ 訓示は9:30に行うので、会場に到着した選手・応援者は速やかに着替えを済ませてコートに集合すること。
- ・ 諸注意を再確認するのでよく聞くこと。
- ・ 有明の本部は当日の朝雨天掲示板に書き込むので必ず確認すること。

試合方法

1. 試合形式

- ・ 各セット6ゲームオールで12ポイントタイブレークの3セットマッチ。
- ・ セットブレイク制で行うこと。
- ・ 試合の順序は、男子の場合D4～D1、S5～S1の順番に行い、女子の場合D2、D1、S3～S1の順番に行う。ただし、両チームの合意の上で試合の順序を変更しても良い。変更する場合は、本部へ届けること。
- ・ 審判は両チームの協議の上で決めること。またその時ルールの確認も必ず行うこと。
※ 試合結果は、一試合ごとに必ず代表者又はその代理の者が速やかに運営本部に届けること。
- ・ 勝敗決定後の消化試合は、初戦は原則として行うが初戦以降は運営上の都合により面数を減らす、もしくは打ち切る場合がある。(但し、サスペンドとなった対抗の消化試合は行わない。)
- ・ 原則としてコートは男子3面、女子2面を使用するが、他のコートが使用できる場合や進行状況などによって、運営委員が使用コート面数を変更する場合がある。
- ・ 試合終了時刻は基本的に日没だが、運営役員の判断により、それ以降も試合を続行する場合がある。
- ・ コートサーフェスは運営役員に一任すること
- ・ インジュアリー時は両選手に給水及び、座って休むことを認める。
- ・ トイレットブレイクはセット間及び、自分側のサーブゲームの前にとれる。ペアで同時に行った場合は2回行ったものとみなす。またトイレット中の治療行為は一切認めない。治療行為等の監視のため相手側から一人付き添いを出しても良い。

2. 試合のルール

- ・ タイブレーク・ゲーム第1ポイントのサーバー側は、次のセット第1ゲームのレシーバー側となる
- ・ ボールがコート外の応援にノーバウンドで当たった場合打った側の失点となる(故意にボールをキャッチした場合はこの限りでない)
- ・ サーブのサイドが間違っていることに気づいたら、そのポイントから正しいサイドで開始する。気づくまでのポイントは有効となる
- ・ ダブルスでレシーバーが間違っただけで左右入れ替わっていたらそのゲームだけはそのサイドでプレーをする。その次のゲームからもとに戻す

平成23年9月3日

- ・サーブモーションに入ってから相手選手が故意に必要以上に動く、声を出すなど相手選手を妨害することは禁止する
- ・ポイント中に物を落としたらレットとする。二回目以降は失点となる
- ・悪質なタイムバイオレーションは処罰の対象となる。
- ・セット間であればダブルスにおいてペア間でサービスの順番を変えてもよい。レシーバーのサイドも同様とする
- ・1ゲーム目と、タイブレイク時の休憩はなしとする。ただし1ゲーム目は給水可だが、タイブレイクに移行する際は給水不可である
- ・タイブレイクのコートチェンジ間の給水は可とする。座ることは不可とする。
- ・奇数ゲームでセットが終わった時、次のセットはコートチェンジしてから開始する

3. DEF規定

- ・無断DEFは認めない。やむを得ず棄権する場合は、前日の21:00までに大会委員長に連絡すること。
- ・9:15までにオーダー表を提出していないときは、DEFとする。
- ・試合の順序は、前項目の通りに進めるが、該当試合開始時に選手のいないときはポイントDEFとする。
- ・ウェア、ラケット、シューズなどがなく試合が行えない場合はDEFとする。

4. 抗議権

- ・審判のジャッジに関する抗議権は選手のみが有する。その他の事に関する抗議権は、キャプテンもしくはそれに準ずる代表者1名のみとする。
- ・キャプテンもしくはそれに準ずる代表者はこちらが用意するキャプテンマークを必ずつけること。

(試合終了後)

- ・運営役員の指示に従いコート整備、会場の清掃、特に昼食などの後始末をすること。
- ・試合終了後、速やかに着替えを済ませ、会場からでること。

応援に関する禁止事項

- ・各会場のコートマナーに反するような応援。(別紙コートマナーに関する諸注意参照)
- ・コートのライン内に入ること。
- ・相手の中傷するような行為・発言をすること。これはコート内外を問わず確認が出来たら、規定に従い処罰を与える。
- ・相手がサービスのモーション(ボールをつくなど)に入った後に発声及び動くこと。
- ・遅延行為。
- ・その他明らかにスポーツマンシップに反すると見られる行為。
- ・選手、審判以外の者による試合に関する判定。これを行った者は当該対抗においてはコートより退場とする。

ウェア規定

- ・身に着ける物はすべて蛍光色を避けること
 - ・選手、審判、応援ともに上下テニスウェア・テニスシューズを着用すること
 - ・スウェットでの試合は不可とする
 - ・トレーナー、パーカー着用での試合は不可とする
 - ・アップ着用での試合は可とする
 - ・Tシャツは不可とする
 - ・度入りを除くサングラスは不可とする
 - ・帽子、リストバンド、サポーター着用での試合は認める
 - ・規定のウェアがないときはDEFとする
- ・応援者・審判の防寒具の着用は認めるが、派手目なものは避けること。

コートマナー

- ・当ドローに掲載されている各会場のコートマナーを遵守すること
- ・各会場のロッカーの使用は禁止とする
- ・応援者もテニスウェア、テニスシューズに着替えてコート（フェンスの内側）に入ること。ない場合はコートに入ることを禁止する
- ・試合中ラリーが続いている間は、絶対にコートの後ろを通らないこと。
- ・コート内（フェンスの内側）での食事・喫煙は禁止する。またコート以外でも、指定された場所以外での喫煙(特に歩行喫煙や更衣室での喫煙)は禁止する
- ・コート内（フェンスの内側）でのカメラ、携帯電話、その他電子機器の使用は禁止する。
- ・運営役員が来るまでは、クラブハウスに入らずに外で待つこと

審判

- ・ウォームアップを5分測る。アップ内容は選手同士の合意で決定するものとする
- ・担当領域外での発声は認めない
- ・主審の発声領域はベースライン、主審側のサイドライン、センターサービスラインとする。残りはハンドシグナルのみとする。
- ・副審の発声領域はサービス時のサービスライン及びサービスサイドライン、副審側のサイドライン。残りはハンドシグナルのみとする。
- ・それぞれの発声領域における発声のみがポイントに対して有効とする。もし担当外での発声でプレーが止まった場合、間違っで担当領域以外での発声を行った審判のサークル側の失点とする
- ・レット、ノットレディーのコールは両者に認める。
- ・審判はジャッジに公平を期すること。

ボールについて

- ・使用球は、BRIDGESTONE XT8とする。
- ・1試合につき1缶使用する。
- ・サスペンドとなって別の日に試合が入った場合、先に使用していたボールは使用せずに大会本部で新しいボールを受け取り、使用すること。

その他

- ・フリーコート及び壁打ち厳禁。
- ・所定の場所以外での喫煙は発見次第個人及びサークルに対して警告、二度目は該当者は退場とする。別日程時には該当者は警告状態での応援、試合出場となる。
- ・すべての会場において、円陣やミーティング等を行いたい場合は、役員の指示を毎回必ず仰ぐこと。役員への報告がなされていない場合、何らかの処罰が与えられる可能性がある。
- ・原則、全ての会場において8:30前に集合することは禁止とする。ただし野火止はこの限りではない。

※以上に違反したサークルは 警告⇒ポイントロスト⇒ゲームロスト⇒ポイントDEFの順で処罰し、それ以降においては役員会の判断に基づきさらなる処罰を与える。このペナルティーは本大会期間中、男女共通かつ累積とする。また、その日の応援を中止にすることもある。

累積したペナルティを記録し、その次年度の団体戦は前年度のペナルティから1ランク下げたものを団

体戦初戦から適応していく。なおこの規定は2010年度団体戦より適用されている。

※詳しくは別紙参照

以上